

特集

学校跡地は生まれ変わっていきます

みんなで考えよう!

～学校跡地を有効活用・機能転換!～



【特集】学校跡地は生まれ変わっていきます

学校跡地は生まれ変わっていきます!～学校跡地を有効活用・機能転換!～ 2～3ページ

旧北貝取小学校は「市民活動・交流の場」・「文化財の収蔵等機能」を備えた施設として生まれ変わります! .. 4～5ページ

図書館本館は学校跡地から多摩中央公園内へ～中央図書館整備基本設計がまとまりました～ 6～7ページ

多摩市からのお知らせ「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会まであと9カ月!」 7ページ

誰もが健康と幸せを実感できる「^{けんこう}健幸都市」を目指して、「健幸まちづくり」を進めています! 8ページ

市長から一言 8ページ

目次

多摩市は、昭和46年(1971年)のニュータウン第一次入居以降、増え続けてきた子どもの数が減り、平成6年(1994年)以降、学校の統廃合が行われました。

学校を閉校した後は、市の公共施設として使う他、公共施設以外の用途として活用している施設や、機能を転換し生まれ変わっている施設もあります。

今号は、学校跡地施設の現状や今後の予定などについて特集します。



市内の全世帯に配布

今号から、市内事業所の皆さんにも配布します!



特集 学校跡地は生まれ変わっていきます～学校跡地を有効活用・機能転換！～

学校跡地を効果的に活用して「健幸」なまちを目指しているニャ!



多摩市では、公共施設のあり方と今後の方向性を示す「公共施設の見直し方針と行動プログラム」を策定し、公共施設の見直しに取り組んでいます。

公共施設の見直しで重要な目的の一つが「時代のニーズに合わせた施設への機能転換」です。

学校跡地施設の活用にあたっては、市民の皆さんが健康と幸せを獲得しやすい環境を整える「**健幸まちづくり**」の視点を持って、有効活用・機能転換を図っていきます。

なお、今後の活用方針が決まるまでの間、「暫定利用」として市民の皆さんにご利用いただいています。

公共施設の見直しの「3つの目的」

- 1 安全に使い続ける
- 2 施設全体のダイエツト
- 3 時代のニーズに合わせた施設への機能転換

多摩市の学校跡地をどのように活用しているのか、ご紹介します!

都営住宅・福祉施設として活用します!

★旧西永山中学校

- 校庭側) 特別養護老人ホームの用地として活用しています。
- 校舎側) 将来のまちづくりのため、将来の土地交換を前提に東京都へ貸し付けし、都営住宅の建て替え用地として活用しています。また、都営住宅との合築により2019年10月に福祉施設を開設します。

完成予想イメージ(第1-1期 西永山中学校跡地)



東京都都市整備局HPより

★旧中諏訪小学校

- 校庭側) 将来のまちづくりのため、将来の土地交換を前提に東京都へ貸し付けし、都営住宅の建て替え用地として活用します。
- 校舎側) 市の教育センター、諏訪南学童クラブ、発達支援室、諏訪いきいき元気センターとして活用しています。

★旧西愛宕小学校

- 将来のまちづくりのため、東京都へ売却し(約25.4億円)、都営住宅の建て替え用地になります。
- ⇒売却収入は主に図書館本館の再整備など、教育目的で活用します。

新たな施設に生まれ変わります!

★旧北貝取小学校

- 「市民活動・交流の場」・「文化財の収蔵等機能」を備えた施設として整備します。
- ⇒詳しくは・・・4～5ページをご覧ください。

★東永山複合施設(旧東永山小学校)

- 永山駅前にある独立行政法人都市再生機構(UR)が所有する旧多摩ニュータウン事業本部用地と、2021年9月末までに土地交換を行います。
- 土地交換で取得する旧多摩ニュータウン事業本部用地は、救急医療の拠点であり、地域医療の核となる「日本医科大学多摩永山病院」の建て替え候補地です。

★図書館本館(旧西落合中学校)

- 暫定利用として学校跡地を使用していますが、時代に合わせたサービス向上のため、多摩中央公園内に中央図書館として整備・移転します。
- ⇒詳しくは・・・6～7ページをご覧ください。

民間活力による有効活用!

★旧南永山小学校

- 校庭側の用地は、多摩消防署の仮庁舎として2020年6月まで使用予定です。
- 校舎や体育館等は2020年以降に解体工事を行い、解体後は民間活力による有効活用に向けた検討を行います。



多摩消防署仮庁舎

★旧豊ヶ丘中学校

- 民間活力による有効活用に向けた検討を行います。

収入を活用しています!

★旧竜ヶ峰小学校

- 将来のまちづくりのため、学校法人へ売却し(14.5億円)、私立学校になっています。
- ⇒売却収入は小学校の建て替えの費用など、教育目的で活用しています。

★東京多摩フットボールセンター・南豊ヶ丘フィールド(旧南豊ヶ丘小学校)

- 2015年から、一般社団法人東京グリーンスポーツリンクに土地・建物を貸し付けています(年間600万円)。
- 人工芝グラウンドと校舎を活用したクラブハウスになっています。
- 災害時は防災避難所となります。



南豊ヶ丘フィールド

★東京医療学院大学(旧南落合小学校)

- 学校法人へ貸し付けています(年間約2,200万円)。
- 医療系の専門大学として活用しています。
- グラウンドは地域の皆さんに開放されています。



東京医療学院大学

多摩市の学校跡地

多摩市の学校跡地は11ヶ所。他自治体と比べて数が多いんだニャ!



多摩市職員にゃんとTAMA三郎



次のページから、これから生まれ変わる「旧北貝取小学校」と、学校跡地を暫定で利用している「図書館本館」の再整備に向けた情報を掲載しています。ぜひご覧ください!

きますす～学校跡地を有効活用・機能転換！～

学校跡地を効果的に活用して「健幸」なまちを目指しているニャ!



多摩市の学校跡地をどのように活用しているのか、ご紹介します!



都営住宅・福祉施設として活用します!

★旧西永山中学校

- (校庭側) 特別養護老人ホームの用地として活用しています。
- (校舎側) 将来のまちづくりのため、将来の土地交換を前提に東京都へ貸し付けし、都営住宅の建て替え用地として活用しています。また、都営住宅との合築により2019年10月に福祉施設を開設します。

完成予想イメージ(第1-1期 西永山中学校跡地)



東京都都市整備局HPより

★旧中諏訪小学校

- (校庭側) 将来のまちづくりのため、将来の土地交換を前提に東京都へ貸し付けし、都営住宅の建て替え用地として活用します。
- (校舎側) 市の教育センター、諏訪南学童クラブ、発達支援室、諏訪いきいき元気センターとして活用しています。

★旧西愛宕小学校

- 将来のまちづくりのため、東京都へ売却し(約25.4億円)、都営住宅の建て替え用地になります。
- ⇒売却収入は主に図書館本館の再整備など、教育目的で活用します。



新たな施設に生まれ変わります!

★旧北貝取小学校

- 「市民活動・交流の場」・「文化財の収蔵等機能」を備えた施設として整備します。
- ⇒詳しくは・・・4~5ページをご覧ください。

★東永山複合施設(旧東永山小学校)

- 永山駅前にある独立行政法人都市再生機構(UR)が所有する旧多摩ニュータウン事業本部用地と、2021年9月末までに土地交換を行います。
- 土地交換で取得する旧多摩ニュータウン事業本部用地は、救急医療の拠点であり、地域医療の核となる「日本医科大学多摩永山病院」の建て替え候補地です。

★図書館本館(旧西落合中学校)

- 暫定利用として学校跡地を使用していますが、時代に合わせたサービス向上のため、多摩中央公園内に中央図書館として整備・移転します。
- ⇒詳しくは・・・6~7ページをご覧ください。



民間活力による有効活用!

★旧南永山小学校

- 校庭側の用地は、多摩消防署の仮庁舎として2020年6月まで使用予定です。
- 校舎や体育館等は2020年以降に解体工事を行い、解体後は民間活力による有効活用に向けた検討を行います。



多摩消防署仮庁舎

★旧豊ヶ丘中学校

- 民間活力による有効活用に向けた検討を行います。



収入を活用しています!

★旧竜ヶ峰小学校

- 将来のまちづくりのため、学校法人へ売却し(14.5億円)、私立学校になっています。
- ⇒売却収入は小学校の建て替えの費用など、教育目的で活用しています。

★東京多摩フットボールセンター・南豊ヶ丘フィールド(旧南豊ヶ丘小学校)

- 2015年から、一般社団法人東京グリーンスポーツリンクに土地・建物を貸し付けています(年間600万円)。
- 人工芝グラウンドと校舎を活用したクラブハウスになっています。
- 災害時は防災避難所となります。



南豊ヶ丘フィールド

★東京医療学院大学(旧南落合小学校)

- 学校法人へ貸し付けています(年間約2,200万円)。
- 医療系の専門大学として活用しています。
- グラウンドは地域の皆さんに開放されています。



東京医療学院大学

次のページから、これから生まれ変わる「旧北貝取小学校」と、学校跡地を暫定で利用している「図書館本館」の再整備に向けた情報を掲載しています。ぜひご覧ください!

特集 学校跡地は生まれ変わっていきます

旧北貝取小学校は「市民活動・交流の場」・「文化財の収蔵等機能」を備えた施設として生まれ変わります！

旧北貝取小学校は、コミュニティやサークルの活動・交流を行う「市民活動・交流の場」及び文化財の収蔵展示や体験学習ができる「文化財の収蔵等機能」を備えた施設として、2021年度に開設する予定です。

市民の皆さんのご意見を伺いながら、施設の恒久活用のあり方について検討し、2019年4月に「旧北貝取小学校跡地活用基本方針」をまとめました。

基本方針に基づき、施設の開設に向けた準備をすすめていきます。



旧北貝取小学校

【こんなことをやってきました！】

- ・学校跡地施設利用者懇談会 (2018年6月～2019年1月・全4回)
- ・学校跡地施設利用団体アンケート (2018年6月)
- ・市民ワークショップ (2018年10月～2019年1月・全4回)

～市民ワークショップではこんなことを話し合いました～
20年、30年後も、広くよりよく利用していただくためには？
○空間の利用や施設の機能の検討
○魅力ある施設とするためのアイデア出し
○施設の使い方についての知恵・アイデア出し など



市民ワークショップの様子

- ・「旧北貝取小学校跡地活用基本方針(案)」とりまとめ (2019年2月)
- ・パブリックコメント(市民意見の募集) (2019年3月)
- ・市民説明会 (2019年3月)



市民説明会の様子

「旧北貝取小学校跡地活用基本方針」決定 (2019年4月)

基本方針の内容から一部ご紹介

【施設のコンセプト(基本理念)】

全体コンセプト “未来へと人も文化もつなげる場”

人というのは、市民のことを表しています。文化というのは、多摩市の歴史の中で生まれてきた文化財や学校跡地の暫定活用の中で行われてきた市民のいきいきとした活動を表しています。

人と人がつながっていくことで、これらの有形・無形の財産をこれから先の未来の世代につなげていってほしいという思いを表現しています。

【施設の活用イメージ】

市民ワークショップや利用者懇談会等のご意見を整理し、イメージにしたものです。

人とのつながりや笑顔が広がってみんな健幸になるんだニャ！



“未来へと人も文化もつなげる場”



【施設の機能】

施設の活用イメージを基に、全体の改修方針として、用途変更に対応した最低限の法的改修・老朽化(経年劣化や損耗、破損部)対応・必要機能整備・その他付属棟、駐車場等の整備を行います。

施設全体

- 必要最低限の改修(法令遵守、老朽化対応等)
- 床・壁・天井・黒板等は原則そのまま、華やかな改修はしない
- 環境に配慮した施設整備(照明のLED化など)
- 駐車場台数の整備対応(改修前14台→改修後51台)
- エレベータの設置

市民活動・交流センター

- 活動に必要な機能を持った部屋の設置
- 交流スペースの設置
- 防音設備の整備(音楽室など)

(仮称)文化財郷土資料室

- 収蔵展示・見学スペースの整備
- 体験学習スペースの設置
- 資料の収納・貸出機能の設置



市民活動



文化財

【今後の予定】

2019年度に基本・実施設計に着手し、2020年度から改修工事、2021年度にオープンする予定です。今後も、市民の皆さんと連携して整備を進めていきます。

<問い合わせ> くらしと文化部 文化・市民協働課 電話 042-338-6882

【施設の活用イメージ】

市民ワークショップや利用者懇談会等のご意見を整理し、イメージにしたものです。

人とのつながりや笑顔が
広がってみんな健幸に
なるんだニャ!



“未来へと人も文化も つなげる場”

市民活動・交流センター

(仮称)文化財郷土資料室



【施設の機能】

施設の活用イメージを基に、全体の改修方針として、用途変更に対応した最低限の法的改修・老朽化（経年劣化や損耗、破損部）対応・必要機能整備・その他付属棟、駐車場等の整備を行います。

施設全体

- 必要最低限の改修（法令遵守、老朽化対応等）
- 床・壁・天井・黒板等は原則そのまま、華美な改修はしない
- 環境に配慮した施設整備（照明のLED化など）
- 駐車場台数の整備対応（改修前14台→改修後51台）
- エレベータの設置

市民活動・交流センター

- 活動に必要な機能を持った部屋の設置
- 交流スペースの設置
- 防音設備の整備（音楽室など）

(仮称)文化財郷土資料室

- 収蔵展示・見学スペースの整備
- 体験学習スペースの設置
- 資料の収納・貸出機能の設置



【今後の予定】

2019年度に基本・実施設計に着手し、2020年度から改修工事、2021年度にオープンする予定です。今後も、市民の皆さんと連携して整備を進めていきます。

<問い合わせ> くらしと文化部 文化・市民協働課 電話 042-338-6882

図書館本館は学校跡地から多摩中央公園内へ

～中央図書館整備基本設計がまとまりました～

図書館では、旧西落合中学校校舎を暫定利用中の現在の本館に代わり、2022年秋開館を目指して、多摩中央公園内に中央図書館を整備する取り組みを進めています。

市民の皆さんとともに策定した基本構想及び基本計画をベースに、2019年7月に基本設計をまとめましたので、その概要をご紹介します。

実施設計も2019年度中に完了し、2020年10月から建設工事を行う予定です。

2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
基本構想策定	基本計画策定	基本・実施設計	建設工事	開館準備	開館	
		▲ 現在				

公園とレンガ坂に調和する図書館

地上2階・地下2階、延床面積は、現本館と同規模の中央図書館を新築します。

多摩中央公園の北西側で、地形に合わせて建物を配置します。北側斜面を残すとともに建物の高さを低く抑えることで、公園との一体性に配慮します。

また、外壁の一部をレンガ調仕上げとした外観デザインとします。



注記：検討中のイメージ図です。図書館の外観が見えるように、樹木などの表示を一部消して表現しています。

広がる学び・出会い・活動

多摩中央公園の大池側からアクセスできる2階は開架と多様な市民活動に対応する諸室・空間を配置し、賑わいを生み出せる広場のようなフロアです。

レンガ坂側からアクセスできる1階は開架が広がり、静かな空間で読書ができるフロアです。

これらの中で、25万冊の開架資料と500席以上の多様な居場所・座席を設ける計画です。

地下1～2階は管理部門として、全市図書館サービス網の中核機能を発揮するため、35万冊の開架書庫と事務室、配本ヤードなどを確保します。



注記：検討中のイメージ図です。今後変更になる場合があります。

公園とまちをつなぐ図書館



注記：配置を分かりやすくするために、中央図書館の建物部分を実際より大きく表示しています。

自分のワクワクを見つけて健幸のヒントにするんだニャ!



敷地の傾斜を活かし、多摩中央公園(大池側)・レンガ坂・多摩中央公園通りの3レベル・3方向からアクセスできます。

公園内の施設同士の連携を強化し、新しい人の流れを創出します。

< 問い合わせ >

教育部 図書館
電話 042-373-7955

多摩市からのお知らせ

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会まであと9カ月!

いよいよ来年、1964年以来56年ぶりに東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。東京2020大会は、アジアで初となる同一都市での2度目の夏季オリンピック、また、世界で初となる同一都市での2度目の夏季パラリンピックとなります。市内では聖火リレーと自転車競技ロードレースが実施されます。

多摩市内の聖火リレーは都内2日目の7月11日(土)!

都内では開会式までの15日間(7月10日(金)～24日(金))をかけ、聖火が62市区町村を巡ります。

多摩市は都内2日目となる7月11日(土)に実施される予定です。ルートの詳細は2019年12月末頃に公表される予定です。

自転車競技ロードレースが多摩市内を駆け抜けます!

多摩市内は、東京2020オリンピック競技大会における自転車競技ロードレースのコースとなっています。開会式翌日と翌々日の2日間にわたって、私たちのまちを世界のトップレーサーたちが駆け抜けます!

2020年7月25日(土)男子レース

午前11時スタート(予定)
多摩市内は午前11時30分頃通過見込

2020年7月26日(日)女子レース

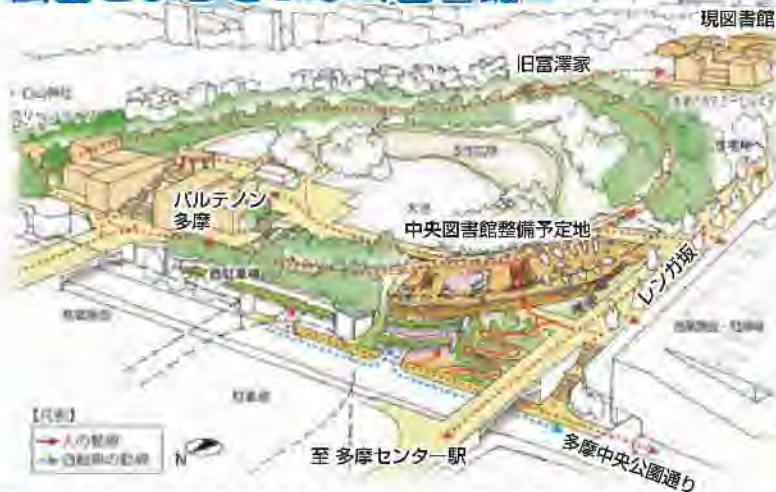
午後1時スタート(予定)
多摩市内は午後1時30分頃通過見込



▲2019年7月21日に開催された自転車競技ロードレーステストイベントの様子(多摩東公園交差点)

< 問い合わせ > 暮らしと文化部 オリンピック・パラリンピック推進室 電話 042-338-6947

公園とまちをつなぐ図書館



注記：配置を分かりやすくするために、中央図書館の建物部分を実際より大きく表示しています。

自分のワクワクを
見つけて健幸のヒント
にするんだニャ！



敷地の傾斜を活かし、多摩中央公園（大池側）・レンガ坂・多摩中央公園通りの3レベル・3方向からアクセスできます。

公園内の施設同士の連携を強化し、新しい人の流れを創出します。

< 問い合わせ >

教育部 図書館

電話 042-373-7955

多摩市から
のお知らせ

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会まであと9カ月！

いよいよ来年、1964年以来56年ぶりに東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。東京2020大会は、アジアで初となる同一都市での2度目の夏季オリンピック、また、世界で初となる同一都市での2度目の夏季パラリンピックとなります。市内では聖火リレーと自転車競技ロードレースが実施されます。

多摩市内の聖火リレーは都内2日目の7月11日(土)！

都内では開会式までの15日間(7月10日(金)~24日(金))をかけ、聖火が62市区町村を巡ります。

多摩市は都内2日目となる7月11日(土)に実施される予定です。ルートの詳細は2019年12月末頃に公表される予定です。

自転車競技ロードレースが多摩市内を駆け抜けます！

多摩市内は、東京2020オリンピック競技大会における自転車競技ロードレースのコースとなっています。開会式翌日と翌々日の2日間にわたって、私たちのまちを世界のトップレーサーたちが駆け抜けます！

2020年7月25日(土)男子レース
午前11時スタート(予定)

多摩市内は午前11時30分頃通過見込

2020年7月26日(日)女子レース
午後1時スタート(予定)

多摩市内は午後1時30分頃通過見込



▲2019年7月21日に開催された自転車競技ロードレーステストイベントの様子(多摩東公園交差点)

< 問い合わせ > 暮らしと文化部 オリンピック・パラリンピック推進室 電話 042-338-6947



誰もが健康と幸せを実感できる

けんこう とし

「健幸都市」を目指して、

「健幸まちづくり」を進めています！

健幸まちづくりは、市民の皆さんが健康と幸せを獲得できるようにサポートする取り組みです。

例えば、皆さんが集い、交流し、活動するきっかけとなるような環境を整えることも、健幸まちづくりの大切な視点です。

最近の研究のご紹介

いつまでも健康でいるためには、社会とのつながりを維持することが大切！

前期高齢者*を対象とした、ある調査結果によると認知症予防に効果的なのは、

- スポーツや趣味活動など、**地域のグループ活動に参加すること**
- さらに、その活動の中で**役割を担うこと**

活動に参加している人の認知症発症リスクを基準とすると

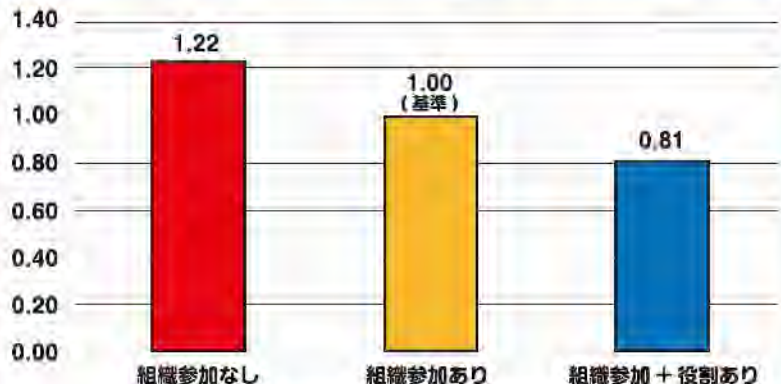
- 非参加者のリスクは 22% 高い
- 参加者かつ役割を持つ人のリスクは 19% 低い

Let's 健幸まちづくり♪

あなたも何か

始めてみませんか？

認知症を伴う要介護認定発生のハザード比（前期高齢者*対象）



【出典】「健幸まちづくりシンポジウム～長生きできるまち・多摩へ～」
千葉大学予防医学センター近藤克則教授の講演資料をもとに作成

Nemoto Y. et al. BMC Geriatr. 17(1):297.doi:10.1186/s12877-017-0688-9.(2017)

*前期高齢者…65歳から74歳までの方

市長から一言

健幸まちづくりのさらなる推進に向けて



2019年6月から「第五次多摩市総合計画第3期基本計画」がスタートし、基盤となる考え方として「健幸まちづくりのさらなる推進」を位置づけました。市民の皆さんが様々な活動に参加し、交流することが「健幸まちづくり」につながると考えています。学校跡地においてもこうした視点や時代のニーズに対応した機能転換を図っていきます。

学校は、地域の方にとって、非常に身近で思い出の詰まった施設です。

学校としての役割を終えた後も、貴重な財産である学校跡地施設を、機能転換により市民の皆さんの健康や幸せに資する新たな施設としていきます。また、将来の需要に応えるための資産として、効果的な活用を図っていきます。

多摩市長 阿部 裕行